

札幌社保協 FAXニュース

2014年 7月3日(木)
社保協事務局 発行
TEL823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
高齢者110番は
7月31日(木)です

社会保障改悪と増税・負担増に対抗し共同でたたかおう！

札幌社保協第17回定期総会

札幌社保協2014年度第17回定期総会が6/19に開催され、加入団体から32人の代表が参加しました。

今回は医療・介護改悪法案が決められた直後の、怒りの中での総会となりました。2013年度は、社会保障と税の一体改革に抗して、生活保護1300人・年金6700人と、引き下げに対する審査請求に数多くの当事者がたちあがり、社保協が全面的な支援を行ったことを確信に、2014年度は生活保護・年金の裁判闘争を視野に入れたたたかいを進めることを確認しました。

討論では地区労連～介護現場の実態、宮川市議～介護、国保料引き下げについて、保育労組～市の保育新制度への姿勢、豊平・北区・西区・東区～各区社保協の活動、中部民商～国保の相談会、新婦人～子ども医療費助成、勤医協在宅～医療介護綜合法案反対の宣伝と今後の運動、豊平区守る会～区交渉の取り組み、等の発言がありました。

当面介護の要支援はずし等について、市に要望と懇談を行うこと、来年の地方選挙に向け国保料の引き下げを求める運動を検討することなどが提起され、方針案と決算・予算が確認されました。代表には、高崎裕子弁護士、堀毛清史勤医協理事長、内村密地区労連副議長、佐藤宏和道生連事務局長、事務局長には勤医協本部齊藤浩司氏が再選されました。



国保・介護110番

収入低く保険料が払えない



札幌社保協と国保・介護・後期高齢者医療110番連絡会は、6月中旬にいっせいに保険料納付書が届くことから、全市に案内ピラも配り、各区でいっせいの相談会を開催しました。6/18東区7件、厚別区6件、6/26のいっせい相談日には全区で25件の相談がありました。切実な相談が多くありましたので、紹介します。

白石区110番相談会(6/26実施、左写真)

夫78歳・妻76歳、年金130万/年、介護保険料平成25年度27930円、平成26年度27930、後期高齢者保険料7700円×2人の世帯。保険料が高く2人世帯で約10万円/月の年金では、病気治療を行いながら生活を維持することが精一杯で、支払えないとの相談。

これ以上の減免は見込めないで、生活保護利用を勧めるが、受けたくないとの意思。介護保険料を払っていないため、利用制限について説明して最優先の支払いをすることで話し合う。高血圧症等で通院しているが、勤医協無料低額診療の活用と、夫は隻眼失明状態、奥さんは脳血栓で手術履歴あり、現状杖をつけて何とか歩行している状態のため、障害者手帳交付の可能性や、様々な助成制度の有無などを調べるため、勤医協の病院相談室と連絡をとることにしました。

奥さんは過去年金事務所に相談に行き、「今から払い込んでもたいした金額はでないからやめた方がよい」と対応された経過があり、現状の大変さも含め憤っていたそうです。

くらし・医療・法律等の相談 各区でSOS相談会



6月の国保110番と合わせて、各区社保協ではSOSネットの中心となって相談会を開催しました。北区6/20、西区6/26、豊平区6/29の相談会を紹介します。

【北区SOSなんでも相談会】（写真左上）

北区民センターで6/20午前に開催し、5人が訪れ国保5、年金2、借金1、労働1の相談がありました。国保料の納付書が届いたばかりで納付の相談が多く、年金が下げられたという方もいました。守る会・北部民商・年金者組合・地区労連・司法書士会等から20人の相談員・スタッフが参加しました。

【SOSネット西区相談会】（写真左中）

西区民センターで14時～19時まで開催し、生活・医療・介護・年金・住宅ローン・雇用など17人の相談者が訪れました。67歳の一人暮らし女性は、63歳まで介護や調理の仕事で働いてきましたが、年金は月9万円程度にしかならず、生活費で精いっぱい医療費が払えないと相談があり、勤医協の無料低額診療を紹介。翌日以降、生活保護と国保で4人に同行することになりました。

西区では、相談会案内ピラを6000枚ほど配布し、それを見てきたという人が多く、ピラの効果が大きかったそうです。

【とよひらSOS生活なんでも相談会】（写真左下）

勤医協月寒ファミリークリニック2階で10時～14:30まで行い、18人から20件の相談を受けました。法律は、金銭貸借3・遺産分割協議・相隣トラブル・離婚・年金併給禁止、異議申立手続・賠償請求が弁護士、司法書士は相続関連2件でした。医療・健康は、入院費用相談、及び医療過誤に関する相談。生活は、臨時福祉給付金手続き、及び生活保護受給下での転居相談。住まいでは、立退き賠償請求、及び不動産任意売却相談などでした。

豊平社保協の各団体の他、法律事務所、司法書士会、陽は昇る会、不動産会社など14団体40人が相談員・スタッフとして協力し、昼食の炊き出しを追加する程でした。今回の相談会は豊平区で初の試みであり、豊平区社保協を中心に実行委員会を結成して準備を進め、北海道新聞へのピラの折り込みや、銭湯へのポスター掲示なども行いました。



消費税上げるな!年金下げるな!

年金者組合 チカラも宣伝

6/19年金者組合札幌支部協が主催で、消費税増税反対・年金引き下げ反対の署名と宣伝行動を、札幌駅前地下歩行空間で取り組みました。

3/31、4/19に続く3回目の取り組みでしたが、10時～16時の行動には各区の年金者組合の方々、札幌社保協、道社保協、東部民商等から、のべ70人余が参加しました。

通りかかる人々が呼びかけに応じて次々と署名コーナーに立ち寄り、並び人ができる時間帯もありました。高齢者はほとんどの人が「年金は下げられ、消費税が上げられて、生活が大変」と話していました。署名は1日で年金引き下げ反対が840筆、消費税増税反対700筆でした。

